

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	水質検査業務			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名 廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 市街地の整備	施策番号	4 - 1	-
	総合計画書 (ページ)	83	

予算名	款 1	総務課	項 2	維持管理費	目 1	維持管理費	事業 1	維持管理費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	-------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 特定事業場等	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①特定事業場等 63事業場 ②流域下水道接続点 11箇所
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 基準に適合した汚水を排水し、公共下水道に負荷を与えない	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①特定事業場等 63事業場 ②流域下水道接続点 11箇所
	③ そのために何をしましたか。 水質検査	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 水質検査件数 22箇所 延べ66回

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	件	①61 ②11	①63 ②11	①63 ②11	/	
	成果指標	②の数値	件	97.0%	92.4%	97.0%	/	
	目 標	②の目標値		100	100	100	100	100
		目標値設定の考え方	全ての水質検査において基準値に適合する。					
活動指標	③の数値	件	67	66	66	/		

3 経費	事業費(実績)		円	860,842	1,291,865	1,064,702	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円				
		特定財源	円	860,842	1,291,865	1,064,702	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	56.0	56.0	56.0	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	240,800	235,200	235,200	
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	1,101,642	1,527,065	1,299,902		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和60年度に水質の保全及び悪質下水の監視を目的とした開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 当初の検査箇所は流域下水道の接続点のみであったが、平成元年度からは特定事業場についても検査を実施し、また平成13年度からは近隣9市と共同で東京都へ委託し実施している。

仕 事 の 内 容	水質検査業務			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 事業場等に対する水質保全及び基準遵守に向けた啓発。また、各事業場の水質管理責任者との連携。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 特定事業場に対し、年1回、水質管理の徹底について注意喚起文書を送付した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 継続的な水質の監視が成果に結びつくため、事業の継続が重要である。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。